

あしらせに搭載した足元のセンサデータを活用した歩行測位高精度化研究開発事業

事業概要（フェーズ 2）

内容

あしらせのIMUセンサを用いたスマートフォン測位情報の高精度化と外界センサを用いた障害物検知の開発・検証を行い、視覚障がい者の単独歩行における課題が解決するかPoCを進める。

背景・経緯

視覚障がい者の持つスマートフォンはボタン式のiPhone比率が高く、比較的測位精度が悪い。一方で位置情報の正確さはニーズが高いため、補正技術の研究を実施する。また、障害物などで怪我をすることも多くこちらも単独歩行におけるニーズが高い。

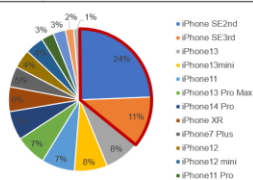
狙い、波及効果

あしらせの動作データを活用することで、事業の幅を持たせる。これにより、よりターゲットユーザーの幅を広げることが出来ると考えている。

事業化

2024年～2025年にかけて、本研究内容を反映した製品のリリースを予定

視覚障がい者のiPhone機種比率例



利用者のうち、1/3以上がiPhoneSE2、SE3を利用している状況。また、iPhone7などの古い端末を利用しているユーザーも一定数存在する。

異なるiPhone機種による位置情報精度の比較



同じ経路を通った場合のiPhone機種によるGNSS精度の違い。iPhoneSE2と14Proを比較すると、SE2の方が平均して1.4倍ほどの誤差が生じた。また、誤差が生じたことにより、SE2の場合に不必要なリルートが発生している。

株式会社Ashirase

本社所在地	東京都港区虎ノ門2-2-1
設立／資本金	50,000千円
従業員数	12名（令和5年7月現在）
事業内容	視覚障がい者向け歩行ナビゲーション「あしらせ」の開発・販売

